

会議録

令和4年3月16日提出

会議の名称	西東京市公民館運営審議会 令和3年度第8回定例会
開催日時	令和4年1月26日(水) 18時30分から19時35分まで
開催場所	柳沢公民館 視聴覚室
出席者	委員：西原みどり(会長)、ギログリー江美(副会長)、荒井茂、谷関幸子、小須田厚子、石川健、青木美紀子、渡部國夫、小沼純子、荒井容子、高井正 職員：高田館長、國府方館長補佐(田無分館長)、山本事業係長、等々力分館長(芝久保)、三城分館長(谷戸)、長谷部分館長(保谷駅前)、市川事業係主査、星野事業係主査
欠席者	三沢英俊 中嶋太 海老澤裕恵
議題	<p>1 主催事業について</p> <p>(1) 令和3年度公民館主催事業報告について(資料1)</p> <p>(2) 令和3年度公民館主催事業計画について(資料2)</p> <p>(3) 令和4年度まちなか先生(学校出前講座)について</p> <p>2 審議事項</p> <p>(1) 令和3年度第6回定例会会議録(案)について(資料3)</p> <p>(2) 令和3年度第7回定例会会議録(案)について(資料4)</p> <p>(3) 令和4年度公民館事業計画(案)について</p> <p>(4) 公民館事業評価(案)について</p> <p>3 報告事項</p> <p>(1) 行政報告</p> <p>(2) 公民館だより編集室報告</p> <p>(3) 東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会報告</p> <p>4 事務連絡及び情報交換</p> <p>(1) 令和3年度東京都公民館連絡協議会第1回研修会について</p> <p>(2) 令和4年度公民館運営審議会定例会開催日程(案)について</p> <p>(3) 令和3年度利用者懇談会開催日程について</p> <p>(4) これからの予定について</p> <p>(5) 第9回定例会の開催について</p>
会議資料の名称	<p>【配布資料】</p> <p>資料1 令和3年度公民館主催事業報告書</p> <p>資料2 令和3年度公民館主催事業計画書</p> <p>資料3 令和3年度第6回定例会会議録(案)</p> <p>資料4 令和3年度第7回定例会会議録(案)</p>
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
傍聴者	<input checked="" type="checkbox"/> あり(2名) <input type="checkbox"/> なし
会議内容	<p>1 主催事業について</p> <p>(1) 令和3年度公民館主催事業報告</p> <p>○A委員</p> <p>親子講座「ネイチャークラフトを楽しもう」(保谷駅前)について、「担当の考察・課題」欄に、「父子」とするとシングルマザーの家庭が参加できないという公民館運営審議会委員の指摘を受けて「親子」としたが、親子対象とすると「父親の子育て参加の推進」「男女共同参画」につなげることが難しくなると感じたという趣旨の記述がある。私の発言は、父親と参加できない場合もあるので父子に限定しなくてもよいのではないかという意図からのもの。親子</p>

で楽しむ講座「水辺の生物」（柳沢）には父親の参加が多かったようなので、シングルマザー対象の講座を実施するという方向に向かわなくてもよいのではないか。

○B委員

親子で楽しむ講座（柳沢）には父親も参加しているが、それは夏休み期間中に実施したからではないか。実施時期や内容を工夫することにより、父親の参加を促すことはできる。親子を対象とする講座は父親も母親も参加できるようにすることが大切だと思う。

○A委員

親子対象講座の場合、広報時に、父親も参加できることを記載するとよいと思う。

○C委員

多世代交流講座「五感でアート 農&美術でコミュニケーション」（芝久保）について、多世代交流に目的があるのであれば、報告書に世代別参加状況の記載があるとよいと思った。

○公民館長

報告書については、ご意見を受けて記載内容の充実に努めたい。父親の育児参加に取り組むことは公民館の課題。親子で楽しむ講座（柳沢）については、実際に川に入るなどアクティブな内容で、自分が興味をもったことから参加した父親もいた。父親に限定はしないが、参加を促す広報をするなど、父親が参加しやすい工夫をしていきたい。

(2) 令和3年度公民館主催事業計画

○D委員

防災講座「災害について知る！ 備える！ 行動する！ 明日の暮らしに役立つ体験型防災講座」（保谷駅前）について、備考欄に「商業施設の関係者が参加しやすいように平日の開催とした」とあるが、商業施設の関係者とはどのような事前調整を行ったのか。関係者の参加の用途はたっているのか。

○分館長（保谷駅前）

保谷駅前公民館は複合商業ビル「ステアビル」内にあり、毎月、管理運営を協議する定例会議の中で防災についても話し合っている。すでに案内はしてあるが、商業施設関係者にもチラシを配布して参加を呼び掛けたい。従来から保谷駅周辺の防災については課題としてきたが、今回、商業施設を中心に近隣住民を含めて取り組んでいくきっかけになればと思う。

○D委員

とても大切なことだと思う。商業施設、地域居住者を含め取り組んでいただきたい。

○B委員

教養講座・オンライン開催「コロナ禍で新たなライフスタイルを考える～キャンプの魅力を知る編～」(柳沢)について、キャンプという体験型の内容をオンラインで取り上げ、しかも、コロナ後のライフスタイルについて考えることをテーマとしていて、とても興味深い。若い人も含め、いろいろな方が興味を示すと思う。生活や価値観の見直しというテーマが根底にあると思うが、今後に期待したいので、この講座の企画意図を伺いたい。

○事業係主査

本講座のねらいは、公民館の利用の少ない 30～40 代の若い世代を呼び込むことにある。入りやすいテーマとして、とっつきやすくポップなキャンプを選んだ。自然に囲まれたキャンプを経験して価値観が変わった、実生活に変化が表れたという講師の話をとっかかりにライフスタイルを考える機会としたい。来年度以降も、取り上げるテーマを変えながら、継続して実施していきたいと考えている。

○E委員

今、説明を受けて、新たなライフスタイルの確立や今の生き方を見直すことが教養講座（柳沢）のねらいであることを理解したが、講座名と副タイトルだけでは、理解しにくい。戦術的にどちらがよいか、わからないが、ターゲットにしたい方たちの様子に配慮しながら、呼びかけを工夫していただきたい。

○事業係主査

公民館だよりやチラシ、SNSを使った広報等で、ハードルを上げないように配慮しながら、事業名と副タイトルの背後にあることも伝えるように工夫していきたい。

○C委員

公民館事業としては珍しい、午後7時から9時という夜間の時間帯に講座が組まれており、期待している。

(3) 令和4年度「まちなか先生」(学校出前講座)について

○公民館長

令和4年度の「まちなか先生」で実施するのは、公民館5講座、図書館6講座、社会教育課4講座、計15講座となっている。1月14日に学校に希望調査の文書を発出した。公民館は5講座の中から1講座を選んでいただくことになっている。なお、図書館、社会教育課は希望数に制限を設けていない。

2 審議事項

(1) 令和3年度第6回定例会会議録(案)について(資料3)

●令和3年度第6回定例会会議録(案)について承認。

(2) 令和3年度第7回定例会会議録(案)について

●令和3年度第7回定例会会議録(案)については、各自、内容を確認し、1週間以内をめどに修正意見を公民館に送ることとする。

(3) 令和4年度公民館事業計画(案)について

○事業係主査

今回、お配りした事業計画案は、まだ検討途中のもの。公民館では、昨年度、令和3年度から令和5年度までの事業計画(中期計画)を作成し、それに基づいて、計画的な事業実施に取り組んでいる。今回は、中期計画の基本方針のどこに該当するかがわかるように、また、どの課題、どの対象が遺漏しているか等がわかるように、基本方針別一覧と対象別一覧という形で事業計画案を作成した。今日、頂戴するご意見・ご要望と、各館の今後の検討を踏まえ、個別事業の概要がわかる形の事業計画案を2月定例会で提出する。その後、防災講座のように全館で取り組む講座等について内容や実施時期等の調整を全館で行い、最終案を3月定例会で提出したいと考えている。本日は、公民館が取りあげるべき課題等について、ご意見を伺いたい。

○B委員

女性に限らず参加できる保育付き講座も実施することは理解した。ただ、子育て中の女性が抱えている課題は未だ解決していない。出産後1～3年は、それが最もあられ、鬱屈している時期。育児期の女性の課題、視点も大事にとらえていただきたい。

報告書によると、家庭の教育力向上講座「ゆらぐココロのヒアリング～これでいい!と思える自分～」には、保育付き講座から発足した自主サークルが企画運営に携わっている。学びのひろがり、市民意識の芽生えを感じる。保育付き講座の根底にある、育児期の女性が主体的に暮らしを変えていく取り組みは継続していただきたい。

○C委員

保谷駅前公民館は3年間にわたり不登校の親子を対象とした講座を実施してきており、関心のある市民も注目している。来年度は取り上げる予定はあるか。

○保谷駅前(分館長)

社会問題講座の中で不登校について取り上げていくことを考えている。進路相談は行わないが、識者を講師に招いて、参加者相互で意見交換を行うことを考えている。

○F委員

例えば不登校を取り上げる講座の場合など、教育相談や不登校にかかわる市の専門家がいると思う。講師を外部から招く理由を伺いたい。

○公民館長

市の施策を紹介する場合など庁内関係部署の職員等を講師に招く場合もあれば、新たな視点、異なる経験からの話を伺うために外部から講師を招く場合もある。両面から考えている。

○F委員

過去に関係部署の職員等を講師に招いた事例はあるか。

○公民館長

不登校を取り上げた講座は教育部の関係他課とも連携して実施してきた。心理学の専門職員に講師を依頼したこともある。

(4) 公民館事業評価表(案)について

○事業係主査

公民館事業評価表は平成 23 年の公民館運営審議会答申に基づいており、評価項目等、基本的な枠組の変更は行わない。大きな変更点は、目標・課題を設定すること。令和 4 年度から、年度当初に目標・課題を設定し、それに照らした評価を行っていききたい。最近の事業評価での指摘をふまえ、評価内容、実績指標、実績の取り方の見直し等を行い、評価項目に、公民館だけでなく市ホームページや SNS の活用等も対象とする「広報」を追加した。公民館事業評価表案については、2 月定例会でご意見を伺い、3 月定例会で決定したいと考えている。

3 報告事項

(1) 行政報告

○公民館長

本年 1 月 1 日付けで社会教育課に社会教育主事が配属された。現在、社会教育課に在籍し、社会教育主事になる資格を有している職員に対して発令したもの。今後、公民館との情報共有を積極的に図っていききたい。

教育委員会定例会では令和 2 年度公民館事業評価について報告。質問、意見はなかった。

(2) 公民館だより編集室報告

- 担当委員より 1 月 20 日（水）に柳沢公民館で編集室会議を開催したことを報告

(3) 東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会報告

- 担当委員より 4 月 20 日（水）午後 2 時から昭島市で東京都公民館連絡協議会定期総会を開催すること、公運審からは 2 名参加する予定であること等を報告。

4 事務連絡及び情報交換

(1) 令和 3 年度東京都公民館連絡協議会委員部会第 1 回研修会について

- 担当委員より報告。

○B 委員

小金井市公民館の発足当時からあるという、市民主体で事業を企画・運営する企画実行委員方式に感銘を受けた。「学びの主体は市民。だから、企画から市民がかかわる」とし、学びの質についても語っていることが印象的だった。西東京市公民館にも、企画の段階から市民がかかわる事業や実行委員会方式の事業がある。制度はなくても、西東京市の同様の取り組みを大切にしていきたい。

(2) 令和 4 年度公民館運営審議会定例会開催日程(案)について

- 事務局が示した令和 4 年度定例会開催日程案を了承

(3) 令和 3 年度利用者懇談会開催日程について

- 事務局より利用者懇談会開催日程について連絡

(4) これからの予定について

- 事務局より 2 月、3 月の予定について連絡

(5) 第 9 回定例会の開催について

日時：令和 4 年 2 月 16 日（水）午後 6 時 30 分

場所：柳沢公民館 視聴覚室